

□に当てはまるかん字を、()におくりがなを書きましよう。

(1) 外(がい)国(こく)人(じん) と えい 語(ご) で 話(わ)はなし をしてみたい。

(2) 親(おや) のしごとをてつたおうと 自(み) (ら)から きめた。

(3) 毎(まい)日(にち) 、 米(こめ) をとぐのがぼくのしごとだ。

(4) 心(こころ) をこめて 音(おん) 読(どく)する。

(5) 元(げん)気(き) な 声(こえ) で名まえを 言(い) (う)。

(6) 交(こう)通(つう) ルールをまもる。

(7) 図(ず)工(こう)室(しつ) にいどうする。

(8) 馬(うま) は、どう 体(たい) のわりに足が 細(ほ) (い)。

(9) 茶(ちゃ)色(いろ) の 鳥(とり) の 羽(はね) をひろった。

(10) 白(はく)鳥(ちよう) が 羽(は) (ば)たいた。

(11) 一(いち)万(まん)円(えん) ひろったので 交(こう)番(ばん) にとどけた。

(12) 小さいころは 体(からだ) が 弱(よ) (わ)かった。